

ビジネス情報科・ビジネス科 3年A・C組

教科名	公民	科目名	倫理（2単位）
使用教科書	倫理（第一学習社）	副教材等	倫理ノート（第一学習社） 最新図説倫理(浜島書店)

1 科目のねらい（目標）

人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 科目・授業の内容と進め方

教科書を中心に、用語・事象についての解説をしながら授業を展開します。授業内容に応じて時事的な事象や身近な課題を取り上げて考察します。

定期考査の際にワーク提出を行います。授業で学んだことを個別学習でワークに取り組み、学習内容の定着を図ります。定期考査では、用語などの丸暗記にならないように考慮し、図やグラフなどから考察できるような問題を出題します。長期休暇中にワークの課題に取り組み、主体的に取り組めたかどうかを評価します。

3 学習の方法

- ・授業を大切にして、授業の中で理解し吸収できるように集中して聞き、メモを取りましょう。
- ・新聞やテレビなどの情報について、宗教・思想・信条など様々な立場や観点から考えましょう。

4 課題・補習について

- ・定期考査ごとにワーク提出があり、1年間でワークを完成させます。
- ・定期考査後、理解度が低い場合は追試などの補習を行います。

5 観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりしている。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題に関連して、学習上の課題を意欲的に追究しようとしたり、他者と共によりよく生きる自己の形成に向けて、多面的・多角的に考察しようとしたりしている。

ビジネス情報科・ビジネス科 3年A・C組

教科名	公民	科目名	倫理（2単位）
-----	----	-----	---------

6 年間の学習計画

月	単元名	学習する内容	評価方法（課題等）
4	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方 生き方 第1章 人間の心と自己形成 1 青年期の課題と自己形成 1. 人間とは何か 2. さまざまな人間の心のあり方 3. 自立して生きる主体の形成	■青年期の課題を踏まえ、人格、感情、認知、発達についての心理学の考え方をもとに、様々な人間の心のあり方を理解する。	・行動観察 ・プリントチェック (知・技、思・判)
5	第2章 人間の存在や価値と宗教 1 ギリシアの思想 1. 哲学の形成 2. 哲学の確立 3. ギリシア思想の展開 2 ユダヤ教とキリスト教 1. ユダヤ教の世界 2. イエス 3. キリスト教の発展 3 イスラーム 1. イスラーム	■古代ギリシアの思想をもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。 ■キリスト教・イスラームをもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。	
6	4 仏教 1. インドの思想文化 2. 仏教の誕生と展開 5 中国の思想 1. 儒家の思想 2. 儒家以外の諸流派 6 宗教や芸術 1. 宗教や芸術	■仏教や中国思想をもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。 ■人生における宗教や芸術のもつ意義について理解する。	前期中間考査 ・考査で評価 ・ワーク提出 (知・技、思・判)
7 8	第3章 人間のあり方と社会 1 人間の尊厳 1. ルネサンス 2. 宗教改革 3. 人間性の探究 2 科学革命の時代と自然観 1. 科学革命の時代 2. 経験論と合理論	■人間の尊厳に関する思想について、代表的な先哲の思想を通して理解する。 ■人間は自然をどのように捉えてきたかを理解する。	・行動観察 ・プリントチェック (知・技、思・判) ・ワークチェック (主体的)
9	3 自由で平等な社会の実現 1. 社会契約の思想 2. 人格の尊厳と自由 3. 人倫と自由の実現 4. 功利主義の思想 5. 実証主義と進化論 4 人間性の回復と主体性の確立 1. 社会主義の思想 2. 実存主義の思想 3. プラグマティズムの思想	■社会契約の思想、人格の尊厳に関する思想、人倫の思想、功利主義の思想などについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。 ■社会の発展に関する思想、公共性に関する思想、プラグマティズムなどについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。	前期期末考査 ・考査で評価 ・ワーク提出 (知・技、思・判)
10 11	第4章 現代の人間と社会をとらえる思想 1 現代の思想と人間像 1. 心の深層と無意識 2. 生の哲学と現象学 3. フランクフルト学派 4. 構造主義・言語哲学 5. 他者と偏見 6. 正義と社会 2 生命への畏敬と社会参加 1. 生命への畏敬とボランティア	■現象学、言語哲学、構造主義などについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。 ■社会参加と奉仕の意義を理解し、社会参加の中にも生きがいがあることを理解する。 ■日本人の人間観、自然観、宗教観などと、古来の日本人の心情と考え方との関係を理解する。	・行動観察 ・プリントチェック 後期中間考査 ・考査により評価 ・ワーク提出 (知・技、思・判)
12	第5章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1 日本固有の思想 1. 日本の風土と伝統 2 外来思想の受容 1. 日本仏教の展開 2. 伝統思想の成熟 3. 日本儒学の展開 3 町人思想のめざめと庶民思想 1. 国学の成立 2. 庶民の思想 4 西洋思想との出会い 1. 幕末の思想 2. 明治の啓蒙思想 3. 日本社会とキリスト教 4. 近代的自我の確立 5. 社会思想の展開 6. 近代日本の思想課題	■日本人の人間観、自然観、宗教観などと、古来の日本人の心情と考え方との関係を理解する。	・行動観察 ・プリントチェック (知・技、思・判) ・ワークチェック (主体的)
1	第2編 現代の諸課題と倫理 第1章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 1 生命の問題と倫理課題 1. 生殖医療と遺伝子操作 2. 脳死臓器移植と再生医療 3. 自己決定の尊重と末期医療 2 地球環境の問題と倫理的課題 1. 地球環境問題 2. 生物多様性と自然環境 3. 予防原則と世代間倫理 3 科学技術の進展と倫理的課題 1. 高度情報通信技術の進展と私たちの生活 2. 先端科学技術の利用と私たちの生活	■生命・地球環境・科学技術との関わりにおいて、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者対話しながら、現代の諸課題を探究する。	
2 3	第2章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理 1 福祉の向上と倫理的課題 1. 多様性のある社会 2. さまざまな他者との協働 3. 地域共生社会と家族 2 文化と宗教の影響と倫理的課題 1. 文化や宗教の理解と現代世界 2. 異文化理解と多文化共生 3 国際平和と倫理的課題 1. 持続可能な社会の形成 2. 世界のなかの日本人としての生き方	■福祉・文化・国際平和について倫理的課題を見だし、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者対話しながら、現代の諸課題を探究する。	学年末考査 ・考査により評価 ・ワーク提出 (知・技、思・判)